

おひさま BUN・SUN メガソーラープロジェクト概要

長野県がプロデュースしたプロジェクトで得られる技術面・事業運営面などの事業ノウハウを、岡谷酸素株式会社が積極的に公開、さらに、自然エネルギー信州ネットがわかりやすく整理・分析してビジネスモデルを全県へ普及するため三者協定を締結する。

1 設置概要

	豊田終末処理場	小川区公会堂
設備容量	約 1,013kW (約 1 MW)	6.0kW
想定年間発電量	約 1,183,560kWh (一般家庭 約 300 世帯分)	約 6,307kWh
貸付面積	19,286.5 m ² (覆蓋 19,126.5 m ² ・土地 160 m ²)	約 50.0 m ²
建設費	約 3.76 億円	約 260 万円
維持管理費	約 3.11 億円 (20 年間)	約 200 万円

2 プロジェクトの特長

- ポイント 1 小規模屋根も活用する分散型屋根貸しメガワット発電
→県内に分散している公共と民間の屋根をブドウの房のように束ねて分散型メガワット発電を推進
- ポイント 2 売電収入の一部を県下全域の自然エネルギー普及活動に還元
→売電収入の一部をおひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト経費(分析・普及等)へ充当
- ポイント 3 事業ノウハウはわかりやすく整理・分析して全県へ普及
→自然エネルギー信州ネットが技術的情報を分析・整理、事業マニュアルも公開
- ポイント 4 民間事業者が実施する全国最大規模の太陽光発電公開試験場
→モジュール設置角度変更、各モジュールメーカー発電状況を公開
- ポイント 5 現場見学会でビフォー・アフターもフル公開
→工事着手直後、設置工事途中、設置後の概ね3回現場見学会を開催し、工事手法も公開することにより県内企業の参入や市町村の屋根貸しを促す。

その他のポイント

- ・諏訪湖のブランド化を意識した発電所名称(岡谷酸素太陽光発電所 SUWACO LABO)
- ・発電所イメージキャラクターを地域の小学生を対象に募集予定
- ・小川区公会堂へ非常用電源装置設置(20年保守)
- ・下水処理場から生まれる材の活用方法の検証

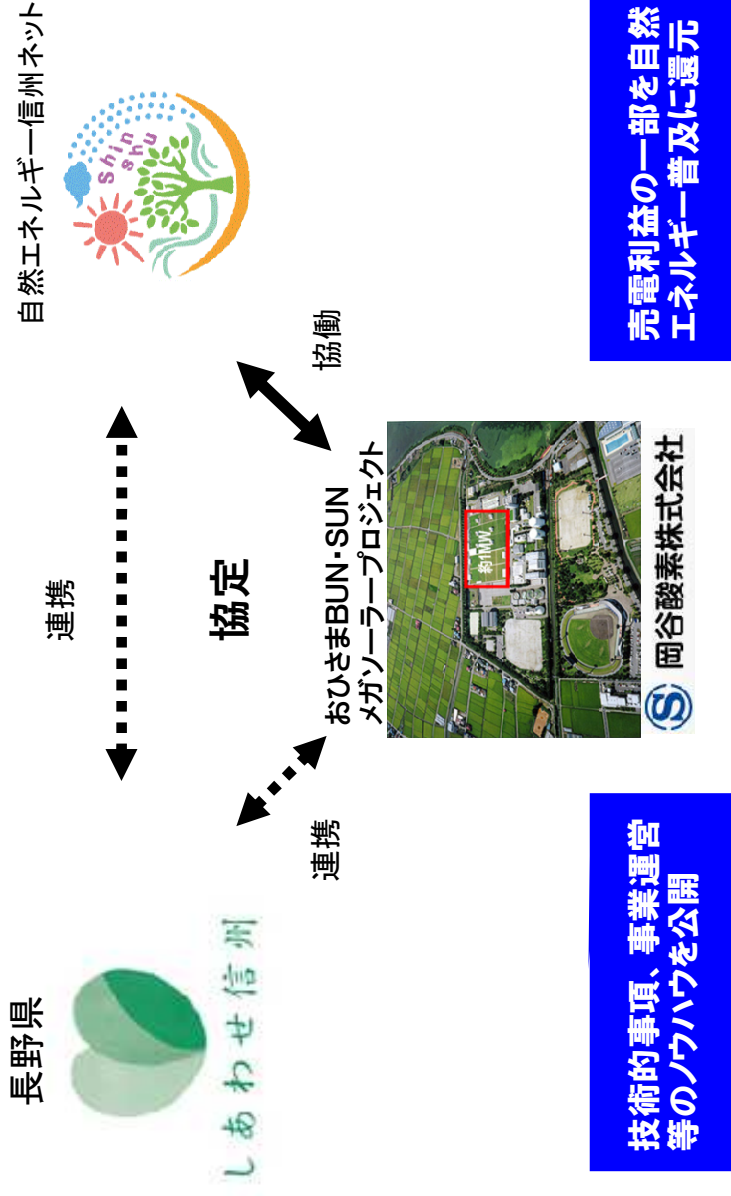
3 経過

- 平成 24 年 10 月 30 日 豊田終末処理場等の屋根貸しによるメガソーラー事業者公募開始
12 月 6 日 事業候補者を岡谷酸素(株)に決定
- 平成 25 年 3 月 25 日 国交省から豊田終末処理場覆蓋(補助対象施設)の目的外使用許可
3 月 27 日 売電単価 40 円/kWh(税抜き)確定
5 月 1 日 諏訪建設事務所長と岡谷酸素(株) 賃貸契約締結
5 月 31 日 自然エネルギー推進に係る自然エネ協定締結
(県、岡谷酸素(株)、自然エネルギー信州ネット)

4 屋根貸付額

- (1) 豊田終末処理場 年額 4,912,857 円
(2) 小川区公会堂屋根 貸付料を徴しないが、同施設内へ非常用電源装置及びシステム一式の設置並びに当該設備の保守等を 20 年間行う。

おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクトにおける協定



- ・ 設計・施工・メンテナンス等に係る技術的事項
 - ・ 発電設備の認定や系統連系協議等に係るノウハウ
 - ・ 発電に係る事業収支などの運営状況
- 配当後利益の30%程度(20年間で約3,800万円)



岡谷酸素株式会社
自然エネルギー信州ネット

発電事業・情報公開

事業分析・整理・普及活動

おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト

おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクトの特長 ～自然エネルギー普及に資する官民連携5大ポイント～

ポイント1 小規模屋根も活用する分散型屋根貸しメガワット発電

→県内に分散している公共と民間の屋根をブドウの房のように束ねて分散型メガワット発電を推進

ポイント2 売電収入の一部を県下全域の自然エネルギー普及活動に還元

→売電収入の一部をおひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクト経費（分析・普及等）へ充当

ポイント3 事業ノウハウはわかりやすく整理・分析して全県へ普及

→自然エネルギー信州ネットが技術的情報を分析・整理、事業マニュアルも公開

ポイント4 民間事業者が実施する全国最大規模の太陽光発電公開試験場

→モジュール設置角度変更、各モジュールメーカー発電状況を公開

ポイント5 現場見学会でビフォー・アフターもフル公開

→工事着手直後、設置工事中、設置後の概ね3回現場見学会を開催し、工事手法も公開することにより県内企業の参入や市町村の屋根貸しを促す



ポイント1

小規模屋根も活用する分散型屋根貸しメガワット発電

BUN-SUN1号

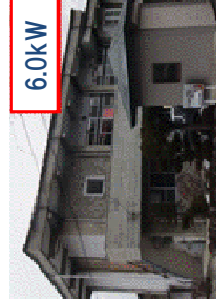
豊田終末処理場（県有施設）



貸付面積
19,286.5m²

BUN-SUN2号

小川区公会堂（民間施設）



貸付面積
50m²



県内に分散している公共や民間の屋根を
ズドウの房のように束ねて分散型メガワット発電

※BUNは束ねるという「bunch」の略

ポイント2

売電収入の一部を県下の自然エネルギー普及活動に還元



売電利益の一部を自然
エネルギー普及に還元

売電単価 40円/kWh

※売電単価は、消費税抜

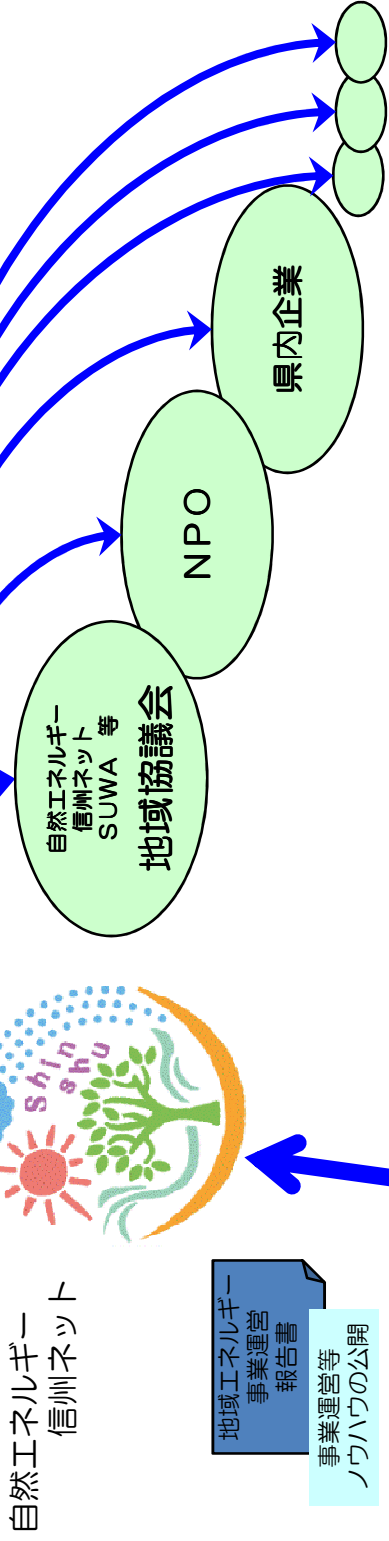
配当後利益の
30%

約3,800万円/20年

県下全域の自然エネルギー普及活動
に還元

ポイント3

事業ノウハウはわかりやすく整理・分析して全県へ普及



岡谷酸素ホームページで公開

岡谷酸素株式会社
※子会社設立後は、子会社に移行

※事業ノウハウの公開
※発電状況の公開

発電状況公開

設計・施工ノウハウ

メンテナンス業務
に係るノウハウ

発電設備設置工事業者

発電設備機器調達
設置工事・電気工事等

維持管理者

メンテナンス業務委託

POINT

- ① 岡谷酸素側は事業の計画・設計・施工及び設備認定、系統連系協議など発電事業開始に係る事業ノウハウなどを整理・分析して全県へ普及
- ② 自然エネルギー信州ネットは地域協議会をはじめ自然エネルギー事業化に取り組む主体に対する普及啓発活動を行う。
- ③ 発電開始後は、発電状況（発電量、売電電量等）、運転状況（運転時間等）もホームページで公開

ポイント4

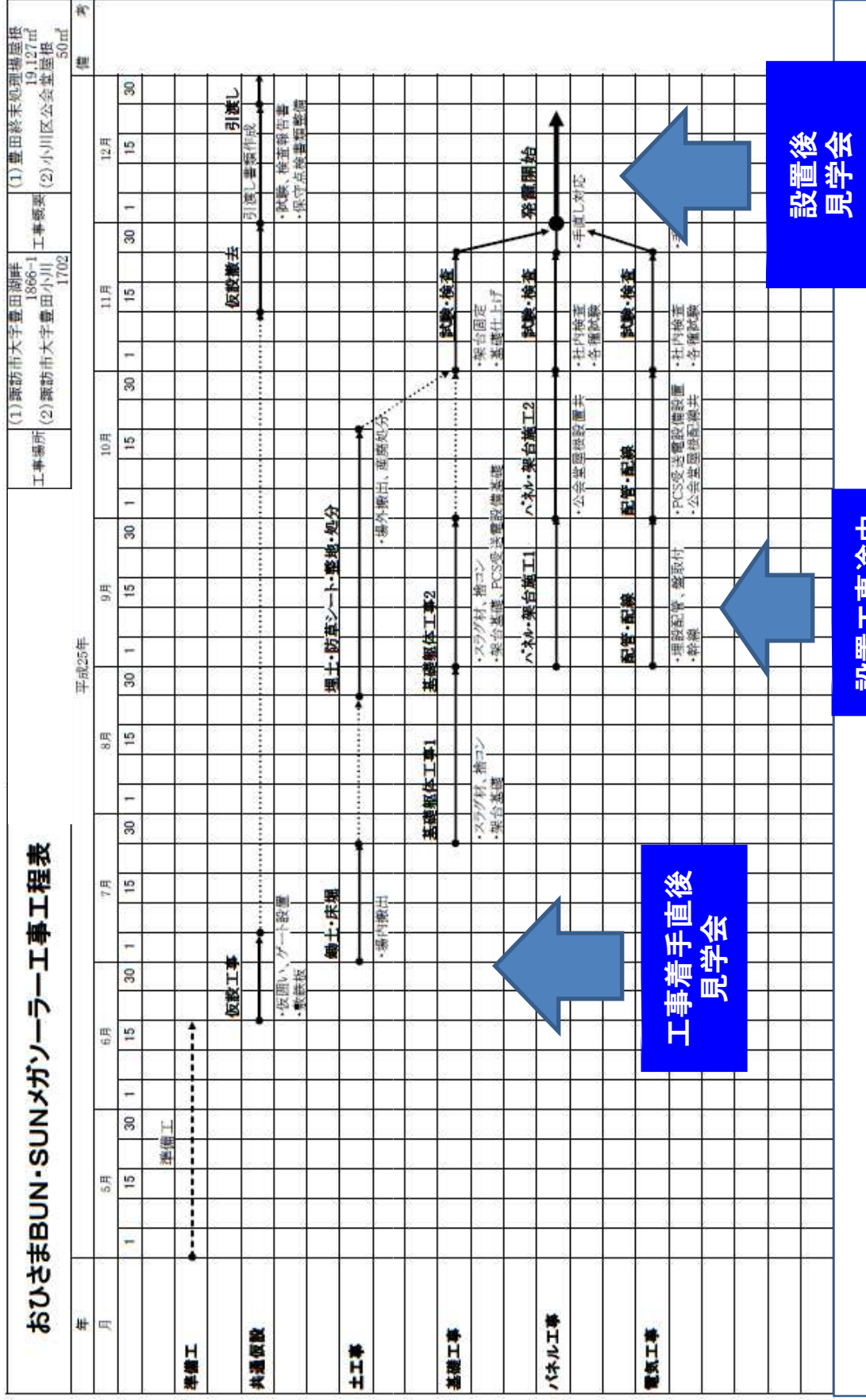
民間事業者が実施する全国最大規模の太陽光発電公開試験場

合計 1,013kW



ポイント5

現場見学会でビフォー・アフターもフル公開

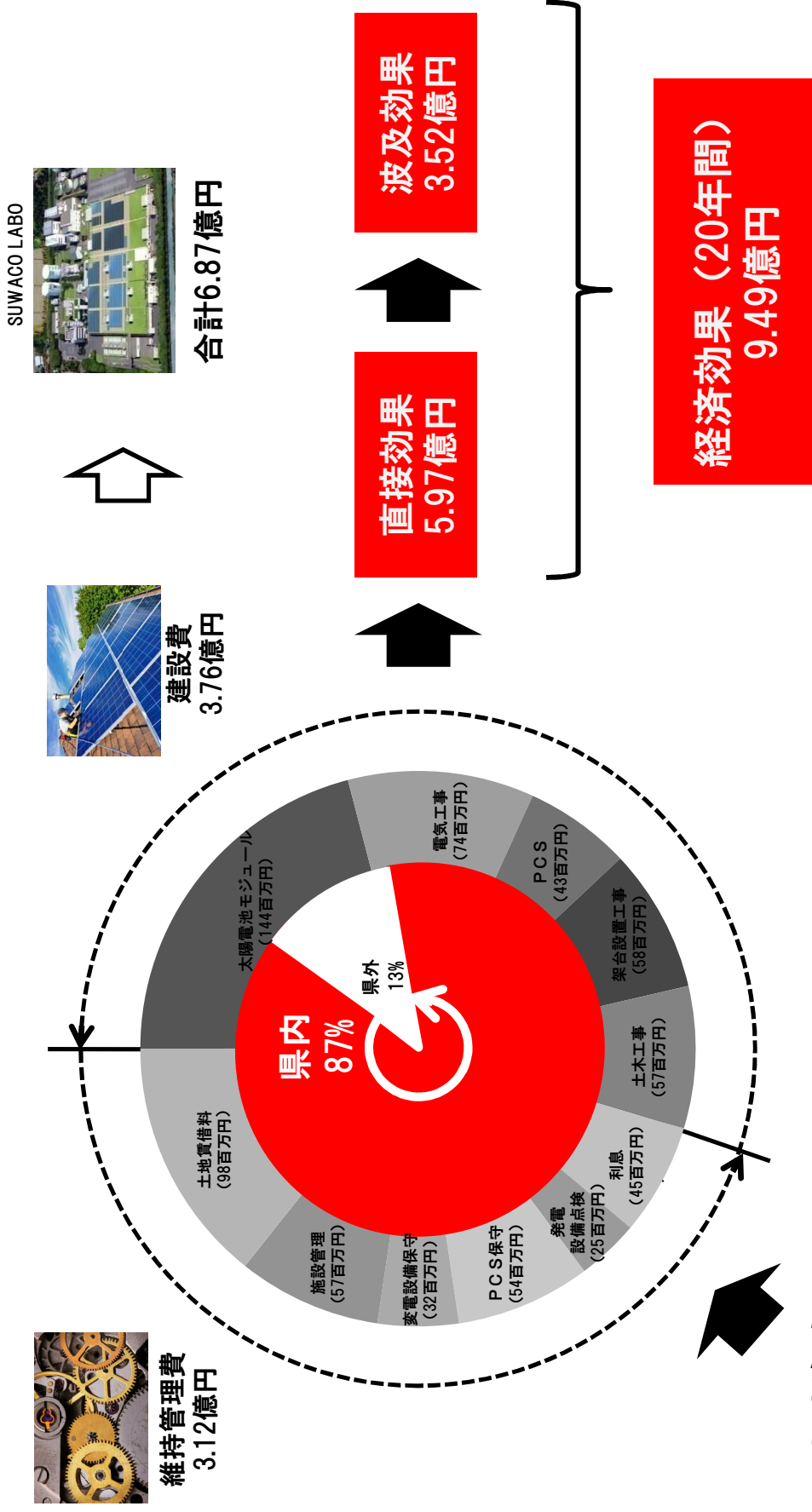


その他のポイント

- プロジェクトを通じた岡谷酸素㈱による地域CSR（企業の社会的責任）
 - ・ 諏訪湖のブランド化を意識した発電所名称
 - 「岡谷酸素太陽光発電所SUWACO LABO」
諏訪湖のほとりで諏訪地域の企業、住民がコラボして、運営する太陽光発電所（研究所）
 - ・ 発電所イメーჯキョクターを地域の小学生を対象に募集予定
 - ・ 小川区公会堂へ非常用電源装置設置（20年保守）
- 下水処理場から生まれる材の活用方法の検証
 - ・ 下水道汚泥から造られる熔融結晶化骨材を発電施設の雑草対策に有効活用

地域経済への効果（試算）

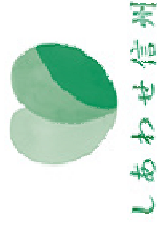
～地域の人材・技術・資金等を活用する地域主導型自然エネルギー事業～



地域資金 100%融資予定

利息は 県内へ

(注) 経済効果については、平成17年長野県産業連関表により算出





おひさまBUN・SUNメガソーラープロジェクトにおける 自然エネルギー普及に関する協定の調印式を行います

諏訪湖流域下水道豊田終末処理場屋根等を活用して太陽光発電事業を行う岡谷酸素株式会社様、全県で自然エネルギーの普及を推進する自然エネルギー信州ネット様、阿部守一知事との三者で、協定締結の調印式を行います。

1 日 時

平成 25 年 5 月 31 日（金）午前 10 時 30 分から 10 時 50 分まで

2 場 所

県庁 3 階 第 3 応接室（長野市大字南長野字幅下 6 9 2 - 2）

3 協定の概要

(1) 締結相手

ア 岡谷酸素株式会社（岡谷市幸町 6 - 6）

代表者：代表取締役 野口 行敏

イ 自然エネルギー信州ネット（長野市新田町 1 5 1 3 - 2）

代表者：会 長 茅野 實

(2) 協定概要

プロジェクトを通じて得られる知見や利益の一部を活用し、長野県、岡谷酸素株式会社、自然エネルギー信州ネットが連携・協働して長野県内における自然エネルギーの普及活動を推進

4 その他

調印式終了後、協定内容にかかる説明資料を配布いたします。

この取り組みは、しあわせ信州創造プラン（長野県総合 5 か年計画）の政策推進の基本方針「1 『貢献』と『自立』の経済構造への転換」に基づくものです。

しあわせ信州創造プラン（長野県総合 5 か年計画）推進中

環境部温暖化対策課新エネルギー推進係
（課長）長田 敏彦 （担当）室賀荘一郎 大林 輝圭
電話： 026-235-7179（直通）
026-232-0111（代表）内線 2728
FAX： 026-235-7491
E-mail ontai@pref.nagano.lg.jp